

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
FOLFIRI	14日間	中等度催吐性リスク(アプレピタント併用)

		薬剤	用量	用法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
		アプレピタント125mg	1カプセル	1×抗がん剤開始60分前	●														
		アプレピタント80mg	1カプセル	1×朝		●	●												
滴下順		薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1		グラニセトロン デキサメタゾン	3mg/100mL 9.9mg	メイン	30分	●													
2		レボホリナート 5%ブドウ糖	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	メイン	2時間	●													
		イリノテカン* 5%ブドウ糖	150mg/m <sup>2</sup> 250mL	側管	1時間30分	●													
3		フルオロウラシル 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 100mL	メイン	全開	●													
4		フルオロウラシル 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> 適宜調節	メイン	46時間	●	→												

\*UGT1A1変異の有無を確認。イリノテカンはレボホリナートと同時に開始、イリノテカンの投与時間が90分であるため先に終了する